

事前評価チェックシート

計画の名称： 環日本海交流を支える物流ネットワークの整備（防災・安全）（重点）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が港湾計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 緊急性、必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

平成30年01月31日

計画の名称	環日本海交流を支える物流ネットワークの整備（防災・安全）（重点）													
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	秋田県													
計画の目標	日本海側巨大地震などの大災害に備え、特に津波の被害が懸念される秋田県沿岸地域において、住民の津波避難に資する社会資本の老朽化対策や事前防災・減災対策等を一体的、総合的に実施し、安全安心な地域づくりを実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		410	A	410	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	津波・洪水等による浸水被害を軽減させる。防災機能強化の推進及び住民の防災意識向上を図り、安全に避難できる人口を増加させる。 避難が可能となる施設の人口	0人	0人	58人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

A 基幹事業																																	
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況														
		一体的に実施することにより期待される効果																															
		備考																															
海岸事業	A09-001	海岸	一般	秋田県	直接	—	津高	港湾	船川港漂流物防止施設整備	漂流物対策施設	男鹿市／船川港・本港地区		■	■	■	■	410		—														
											小計						410																
											合計							410															

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29		
配分額 (a)	0	12	36		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	0	12	36		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	10		
支払済額 (e)	0	2	32		
翌年度繰越額 (f)	0	10	14		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					